

## こども環境ウォッチング

### 北見市

#### <取組の概要・特色>

北見市では、将来を担う子供たち一人ひとりが、フィールドワークや施設見学を通して、私たちの生活と自然環境との関わりあいについて学び、自然環境を大切にする心と行動力の育成を図るため、平成20年度から「こども環境ウォッチング」を実施しています。

また、活動の様子をDVDやポスター等でまとめ、小学校や公共施設に配布しています。

#### ■平成27年度の実践例

平成27年度は8月と1月に開催し、それぞれの季節に合わせた体験活動を行いました。

8月の「第1回こども環境ウォッチング2015」には市内の小学生40名が参加し、訓子府町オロムシ川で虫や魚に触れて学ぶ水生生物観察会、公衆浴場に入浴してマナーを学ぶ公衆浴場体験会、北見市の水道水がどのように作られているかを学ぶ広郷浄水場見学会を実施しました。



(水生生物観察会)



(公衆浴場体験会)



(広郷浄水場見学)

1月の「第2回こども環境ウォッチング2015」には13名が参加し、北見市とこころ遺跡の森でかんじきを履いて雪の上を散策し、野生動物の痕跡を探しました。そして野生動物がどのように食べ物を探すのか、どのように捕食者から身を守っているのかなどを学びました。また、知床財団のスタッフから、人とヒグマなどの野生生物との関わり方について、骨や糞、毛皮などの標本を使って学びました。



(アニマルトラッキング)



(知床財団によるレクチャー)



(標本を触る様子)

#### <推奨理由>

自然体験活動と施設見学を組み合わせ、実体験を重視しながら幅広く環境について学ぶ機会を提供しています。

また、活動の様子をDVDやポスター等で広く情報発信することで、子供たちはもとより、市民の環境保全意識の高揚を図っています。